

DXの取り組み

2024年8月1日
株式会社西行土木

代表メッセージ

デジタル時代の競争力強化を目的として、業務プロセスや組織、企業文化・風土を変革する「DX推進チーム」を立ち上げました。お客様・社員の多様な意見を吸い上げ、自社の課題や将来に向けた変化の兆しを随時分析・把握し、「できたらいいな」を実現していきます。

代表取締役 西行泰弘

企業理念

■ミッション

建設業界はよく「3K」（危険・汚い・きつい）のイメージを抱かれます。それを払拭するにはトンネル業界のDXが不可欠だと私たちは考え、現場に寄り添った使いやすいシステムの自社開発を始めました。

まずは自分たちから。将来は業界全体へ。
業界全体をアウトドアのようなポジティブなイメージへと変えていくため、私たちは最先端の技術を追いつけます。

■DXビジョン

次代に向けて新たな価値を生み出します。
革新的なテクノロジーを活用し、全てのステークホルダーにワクワクや驚きといった体験を提供します。

「できたらいいな」実現に向けて

事業
の
変
革

＜変化に対応し得る、事業の変革（ビジネスモデル立案）＞
事業や働き方そのものを変革して「できたらいいな」を実現していきます。

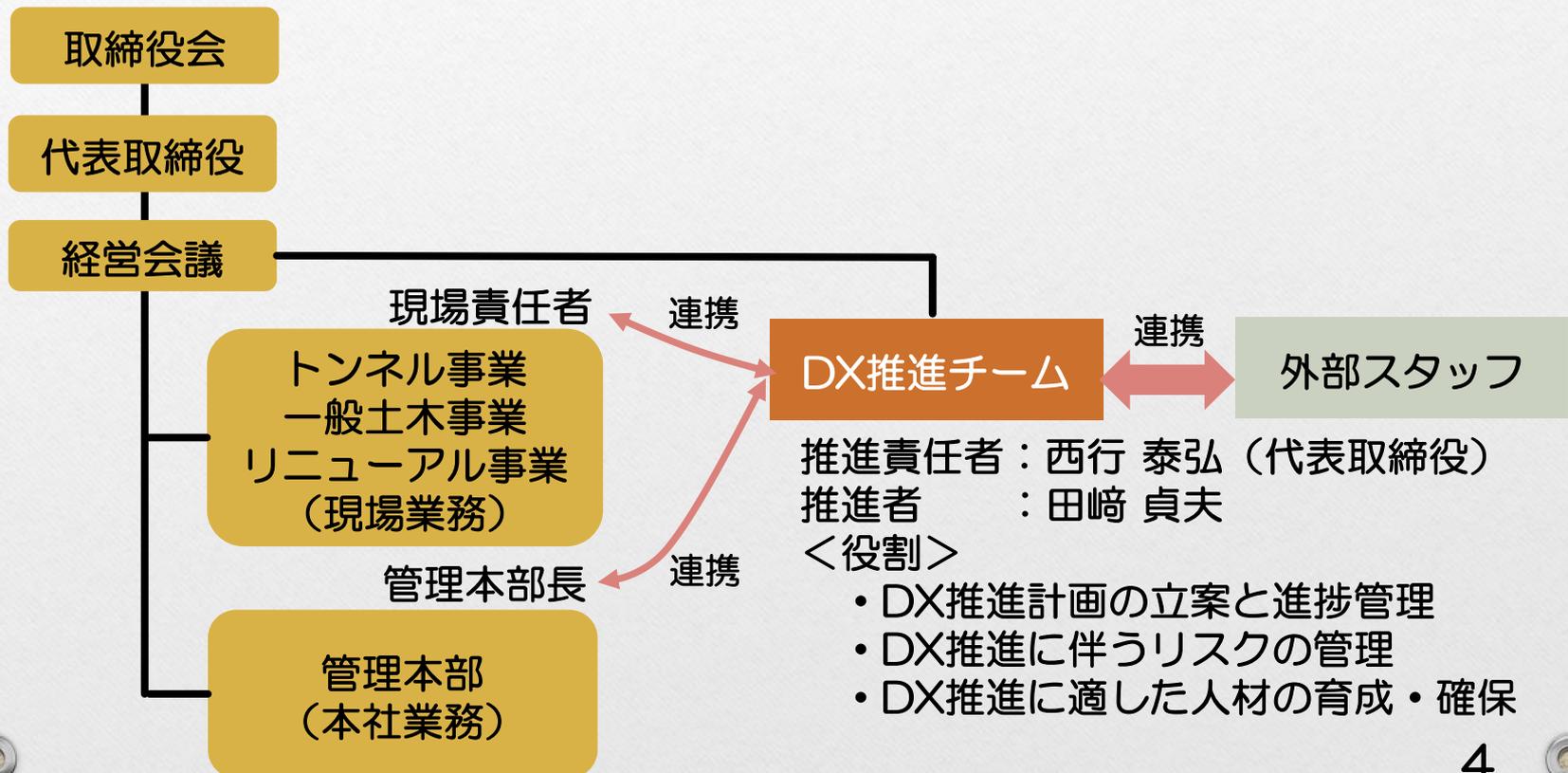
自動
化

＜最新技術を活用した業務プロセスの効率化＞
RPAやAIなどを導入することで、業務プロセスを自動化
・効率化し、社員の業務負担軽減と生産性向上につなげていきます。

デジ
タル
化

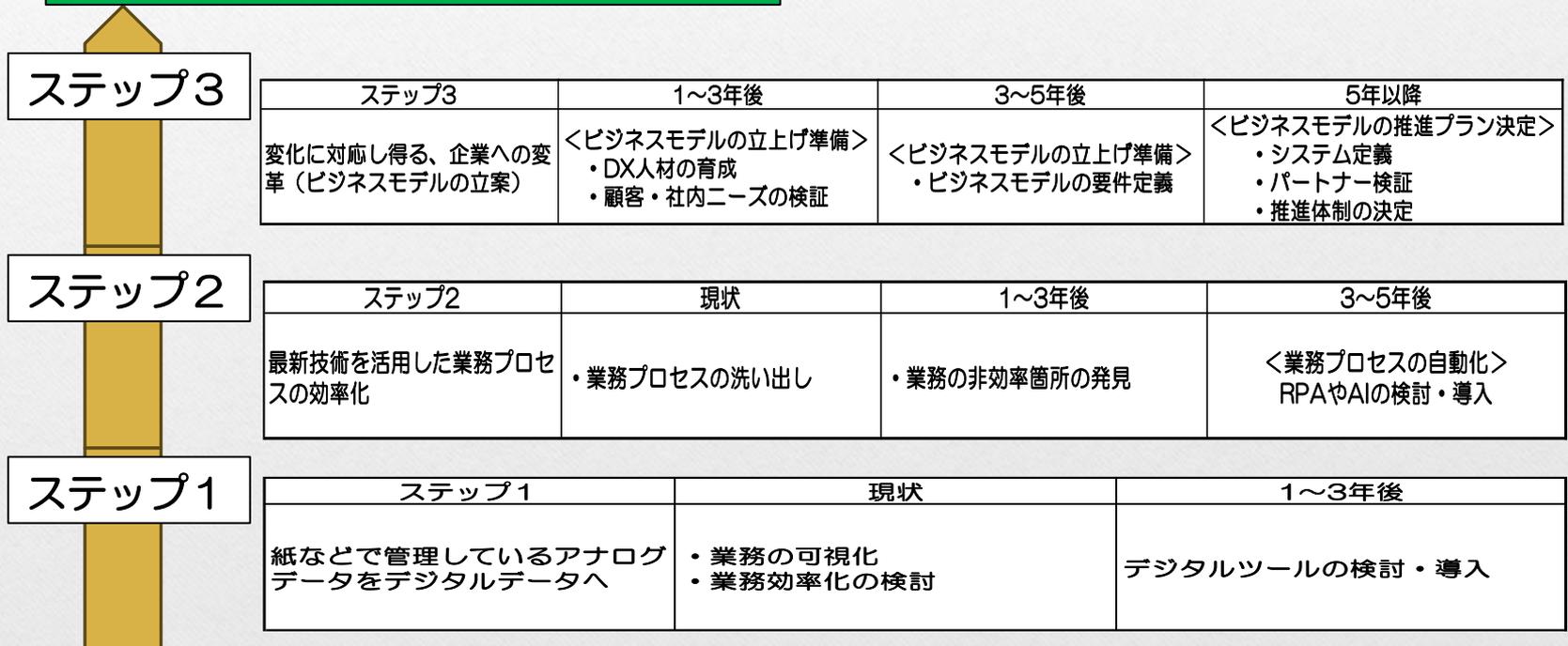
＜紙などで管理しているアナログデータをデジタルデータへ＞
デジタルツールの導入により、業務を効率化し、既存システムをより管理しやすいものに改善していきます。

社内体制 DX推進チームの位置づけ



DX戦略

ゴール（「できたらいいな」を実現）



活動計画

計画		開始時期	完了時期	予算	指標
ステップ1	業務の可視化 業務効率化の検討	2024年4月	2024年10月	新たにDX予算を計上 ・DXへの投資 ・DXによるコストの削減 ・DX人材の育成・確保 ・補助金・助成金の活用	ステップ1、2 目標達成期間なら びに時期の順守
	給与明細クラウド化 バックオフィスのリモート化 掲示板のデジタル化 衛星ブロードバンドインターネット活用	2024年11月	2027年3月		
ステップ2	業務プロセスの洗い出し 業務の非効率箇所の発見	2024年8月	2027年3月	整備内容 ステップ1：デジタルツールの導入 ステップ2：RPA、AI技術の導入	
	業務プロセスの自動化	2027年4月	2029年3月		
ステップ3	DX人材（リーダー）の育成 顧客・社内ニーズの検証 ビジネスモデルの立案	2025年4月	2029年3月		

人材育成

- 担当業務に対してITを活用する社員の育成
ITパスポート試験にチャレンジして知識・スキルを習得
 - DXやデジタルビジネスの実現を主導するリーダーの育成
新規事業開発、既存システムの高度化、社内業務の高度化・効率化を実現
- <参考>外部スタッフの活用
スキル標準に基づき、一定のスキルや経験を有する外部スタッフの選定と連携

情報セキュリティ基本方針

制定日 2024年8月22日
株式会社西行土木
代表取締役社長 西行 泰弘

1. 経営者の責任

当社は、経営者主導で組織的かつ継続的に情報セキュリティの改善・向上に努めます。

2. 社内体制の整備

当社は、情報セキュリティの維持及び改善のために組織を設置し、情報セキュリティ対策を社内の正式な規則として定めます。

3. 従業員の取組み

当社の従業員は、情報セキュリティのために必要とされる知識、技術を習得し、情報セキュリティへの取り組みを確かなものにします。

4. 法令及び契約上の要求事項の遵守

当社は、情報セキュリティに関わる法令、規制、規範、契約上の義務を遵守するとともに、お客様の期待に応えます。

5. 違反及び事故への対応

当社は、情報セキュリティに関わる法令違反、契約違反及び事故が発生した場合には適切に対処し、再発防止に努めます。